

岡村淳監督・ドキュメンタリー作品 上映会／講演会

ブラジル日本人移民・橋本梧郎（植物学・博物学者）の採集資料とその行方

2014年11月24日（月・祝）13:30～17:30

学習院大学・北2号館10階・大会議室

講師：岡村淳氏（記録映像作家）

※ 入場無料・参加自由

第1部・上映会

上映作品① 『花を求めて60年 ブラジルに渡った植物学者』（1996年、30分）

上映作品② 『南回帰行 橋本梧郎と水底の滝・第一部』（2011年、135分）

第2部・講演会

ブラジル日本人移民を記録すること：移民資料の収集と保存の問題を含めて

ブラジル日本人移民を対象としたドキュメンタリー作品を制作している記録映像作家・岡村淳さんをお招きして、上映会・講演会を開催します。

第1部では、戦前にブラジルへ渡り、植物学・博物学研究に一生を捧げた橋本梧郎氏の人生と、その採集標本の行方について追った作品を上映します。第2部では、岡村さん自身の活動や、撮影の対象となるブラジル日本人移民を記録するという行為について、ご講演いただきます。

また、移民自身が残した資料の収集・保存といった問題を通じて、「移民アーカイブズ」について考える機会としたいと思います。



○岡村淳氏・プロフィール

1958年東京都生まれ。早稲田大学卒業後、日本テレビ「すばらしい世界旅行」等の番組ディレクターとして主に中南米を取材。1987年にブラジルへ移住、1997年以降はブラジルの日本人移民や社会・環境問題をテーマとしたドキュメンタリー作品を自主制作し、「ひとりでもご覧になりたい方がいればおうかがいする」という方針で、日本・ブラジルほか世界各国で監督立ち合いのもとライブ上映会を開催している。

- ・著書『忘れられない日本人移民 ブラジルへ渡った記録映像作家の旅』（2013年）
- ・ブログ『岡村淳のオフレコ日記』<http://www.100nen.com.br/ja/okajun/>

○橋本梧郎氏について

1913年静岡県生まれ。ブラジルの生物学者（植物学）、博物学者。1934年、単身ブラジルに渡る。ブラジルの農学校を卒業して以降、博物館職員や学校教師のかたわら植物採集の活動を続けた。生涯をかけて集めた標本は10万とも15万ともいわれ、個人が所蔵する植物標本としては世界最大である。1950年、植物愛好家らを組織化しサンパウロ博物研究会を設立。ブラジルに帰化し、サンパウロ市にて植物研究を続けていたが、2008年死去。

※本上映会・講演会は、科学研究費「移民アーカイブズの標準化モデル構築に向けての実践的研究：日系ブラジル移民を対象に」（挑戦的萌芽研究、課題番号：25580149、研究代表者：青木祐一）の一環として実施するものです。

【問い合わせ】学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻（北2号館6階）・青木祐一

TEL：03-3986-0221（内線3817）／Mail：Yuichi.Aoki@gakushuin.ac.jp